

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2021-07-01

No. 132



株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC &安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格解説: CISPR 14-2 Ed. 3.0 家庭用器具、電動工具等機器 イミューニティ(1/2).....	3
IEC: 新規格リスト	7
ISO: 新規格リスト	10
UNECE: 2つの新しい国連車両規制(No. 158, No. 159) で歩行者等の保護を強化.....	12
国際テーマ: IoTのサイバーセキュリティに関する英国規制を発表: コネクテッド製品に適用	13
国際テーマ: 韓国の市場参入条件に関する最新情報: EMC (および無線) 規格番号の変更	14
国際テーマ: サウジアラビアが強制認証の範囲を拡大: 電気プラグ、壁コンセント等を含む	14
国際テーマ: 第9世代のTCO認証を導入: 循環型ITソリューションの実現等を目標に	15
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	16

USA: FCC: KDB: 388624 D02 事前承認ガイダンスリスト v17r02 発行	17
USA: FCC: Part 2: 国家安全保障に脅威を与えるデバイスの機器認可の禁止を提案	17
USA: FCC: Part 2: 新しいワイヤレス技術デバイスの入手を早めるための取り組み	18
USA: CPSC: 子供向け製品の製品証明に関する試験及びラベリング規制の見直し	19
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	20
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	20
USA: IEEE: 新規格リスト	22
カナダ: ワイヤレスデバイスの時間平均比吸収率 (TAS) の評価手順の補足手順を発行	23

EU: 低電圧指令整合規格: 冷蔵機器、一部実験室用機器、ルームヒーター等関連変更	25
EU: CENELEC: 新規格リスト	25
EU: ETSI: 新規格リスト	31
UK: UKCA マーキングの使用に関するガイダンスが改訂: 自己宣言が許可される範囲	32

中国: SRRC: 産業用インターネット等のための電波利用に関するガイドラインを発行	33
中国: CQC: スイッチング電源の性能区分認証実施規則および技術規範の改訂	33
中国: CQC: 薄型テレビおよびセットトップボックスの新版規格による省エネ認証実施	34
中国: 新規格リスト	34
台湾: 電気自動車用充電システム設備および電池交換システム設備商品の検査規定の改訂	37
台湾: 新規格リスト	37
韓国: 改正前の(KN 番号体系の)試験方法と、改正後の(KS 番号体系の)試験方法の対比表	37
韓国: RRA: 放送通信標準改訂予告: KS X 3123 無線設備の適合性評価試験方法改訂	38
韓国: KATS: 安全確認対象の生活用品 (二輪電動自転車) の安全基準の改正告示	39

総務省: 令和2年度における無線設備試買テストの結果: 85 機種中 77 機種不合格	40
総務省: ワイヤレス電力伝送(WPT)作業班配付資料: 三種の WPT 装置を検討等	40
総務省: 高度約 500km の軌道を利用する Ku 帯非静止衛星通信システムの導入	41
経済産業省: 日本産業規格(JIS)を制定・改正しました (2021 年 6 月分)	42
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈 (通達) の一部改正	42
経済産業省: 令和2年度エネルギーに関する年次報告(エネルギー白書)が閣議決定	43
経済産業省: IoT 製品・システムを安全に実装するための国際規格等の発行	43
国土交通省: 車両後退時の事故防止のための国際基準を導入します(第 158 号)	44

ちよつといっぷく〜小クイズコーナー 製品プロセス等の要求事項を含む ISO/IEC 文書	16
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	24
社長の独り言	45

IEC: 規格解説: CISPR 14-2 Ed. 3.0 家庭用器具、電動工具等機器 イミューニティ(1/2)

「CISPR 14-2 Ed. 3.0 (2020-08) 電磁両立性-家庭用器具、電動工具および類似機器に対する要求事項 -パート 2: イミューニティ - 製品群規格」が発行された。おもな内容を紹介する。

- 適用範囲
「特に明記されていない限り、本文書は CISPR14-1 の範囲内のすべての機器に適用される。」との原則を示している。含まれる機器には、誘導調理器、及び、無線送信/受信機能を組み込んだ機器等がある。CISPR14-1 の場合、適用範囲内でなかったが、電子レンジは、ここに含まれる。
- 機器 apparatus の分類
従来のカテゴリ分類は I から IV の 4 段階であったが、5 段階に再分類された。従来のカテゴリ IV が、カテゴリ IV(クロック周波数が 15MHz - 200 MHz の電子制御回路機器)、とカテゴリ V(クロック周波数が 200 MHz 超の電子制御回路機器)、に再分類された。
- 試験
「5.5 無線周波数電磁界試験 80 MHz - 6 GHz」では、印加電圧範囲が拡張され、上限周波数が、1 GHz から 6 GHz に変更された。引用試験規格に IEC 61000-4-20:2010(TEM 導波管法)が追加された。-----

UNECE: 2 つの新しい国連車両規制(No. 158, No. 159) で歩行者等の保護を強化

- 車の後進時の視認性確保、また、発進時の接近情報信号による、歩行者とサイクリストの事故防止のための国連車両規制が 2 件(No. 158, No. 159) 2021 年 6 月 10 日付けで発効した。

USA: FCC: Part 2: 国家安全保障に脅威を与えるデバイスの機器認可の禁止を提案

- ファウエイ社等に関する処置
- 米国 FCC は、国家安全保障に許容できないリスクをもたらすと考えられる通信機器に対し、今後の認可を一切禁止する規則を提案した。

EU: 低電圧指令整合規格: 冷蔵機器、一部実験室用機器、ルームヒーター等関連変更

- 6 月 22 日付けの欧州官報にて、低電圧指令の整合規格に関する実施決定を修正する委員会実施決定(EU) 2021/1015 が公示された。冷蔵機器、アイスクリームメーカー、製氷機、材料加熱用の実験室機器、ルームヒーターなどに関する実施決定(EU) 2019/1956 を修正するもの。

韓国: 改正前の(KN 番号体系の)試験方法と、改正後の(KS 番号体系の)試験方法の対比表

- 電磁両立性試験方法公告 (国立電波研究発表 2021-10 号) により、KN による試験方法を国家標準 (KS) により行うよう改正が実施された。
- それを容易に参照できるよう、改正前の試験方法(KN 番号体系による試験方法)と、改正後の試験方法(KS 番号体系による試験方法)の対比表(電磁両立性 KS 試験方法番号案内)が、発表された。

社長の独り言

2021 年 6 月 21 日
濱口 慶一

ようやく新型コロナウイルスの感染予防の方針が緩くなりつつありますが、これが適正かどうかについてはいろいろな評価があるとは思いますが。私は高齢者に該当するため、一回目のワクチン接種を受けたところです。小心者のためか注射が嫌いなので、恐怖の方が痛みには勝り、冷や汗をたっぷりかいてしまいました。幸い、接種後の発熱などの副反応はまったく出ておらず、この 23 日には二回目の接種を迎えます。業務での他府県への移動はなるべく控えるようにしていますが、今後さらに状況が良くなれば、お客様からの依頼に応じて積極的に対応していきたいと思っています。

今日は、良いニュースとして、読者の皆様にお伝えしたいことがあります。
弊社は、戦後初めて民間から自ら手を上げ、経済産業省内に設置されている日本産業標準調査会 (JISC) の推薦を得て、IECEE (IEC 電気機器・部品適合性試験認証制度、通称 CB スキーム) の NCB (国内認証機関) として登録されました。6 月 21 日現在、認定証明書には暫定という文言が付いてはいますが、特に問題無ければ正式登録となる見込みです。今まではノルウェーの Nemko で弊社の CB 試験レポートのレビューを受けての CB 証明書の発行となっていました。一部の製品カテゴリではあるものの、コスモスが認証判定を行って CB 証明書を発行できることになります。民間企業として“より良いサービスで、よりよい品質のものを、確実な納期と適正な価格でお届けする”ことが全社員の目標であるのはこれまでと変わりませんが、高いトレーサビリティを持つ CB 試験レポートに基づいて、NCB として公平公正な認証を行うよう、今一層業務に邁進していきたいと考えますので、ご高配を賜りますよう、伏してお願い申し上げます。CB 証明サービスに関しては、別途お問い合わせいただければ幸いです。

長岡技術科学大学でのシステム安全工学の受講ですが、レポート課題の多さにまだ慣れていません。仕事と学生の両立の難しさを早くも思い知らされています。これまで製品安全業界に長い間いたのに新たな発見や、初めて知る分野があったり、こんな良い参考書がありますよと教授に情報として教えたりする楽しみもあるのですが。同級生には、さまざまな産業界から来られた方々や、大学から修士課程に進まれた現役の学生もいて、彼らとの議論の時間は本当に楽しいものです。ただ、私はしゃべりたがりなので、昨日の議論で持ち時間オーバーと教授から 2 度も注意を受けてしまいました。事故解析での議論では、私のお客様のお名前や製品がリスク分析の対象にされたりすると、結果ありきの教授の解説では我慢できないことが多くあり、ついつい教授と議論することになります。このままでは学生としての印象は下がる一方だと心配ではあるものの、人生もあと少しは残っているでしょうし、2 年で無理に卒業しなくても、とも思っています。今までの製品安全に対する私の理解も考えも間違った方向でないはずなので、卒業後の懇親会にでも教授と議論したいところです。

最後になりましたが、巣箱にやってきた蜜蜂の一群が、今朝も巣口を見ると元気に活動していました。何とか秋の大雀蜂の襲来に負けないように守ってやりたいと思います。蜂仲間によると、蜂毒が癌の進行を防ぐ成分があるという論文を出したドイツの学者がいるようで、定期的に蜂に刺されるのも良いようです。もちろん、特殊な体質の方の“アナフィラキシー”には細心の注意が必要ですが。

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU 及び UK, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購読案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO: European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2021-07-01 (No. 132)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレイション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1 ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉口光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2021 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。